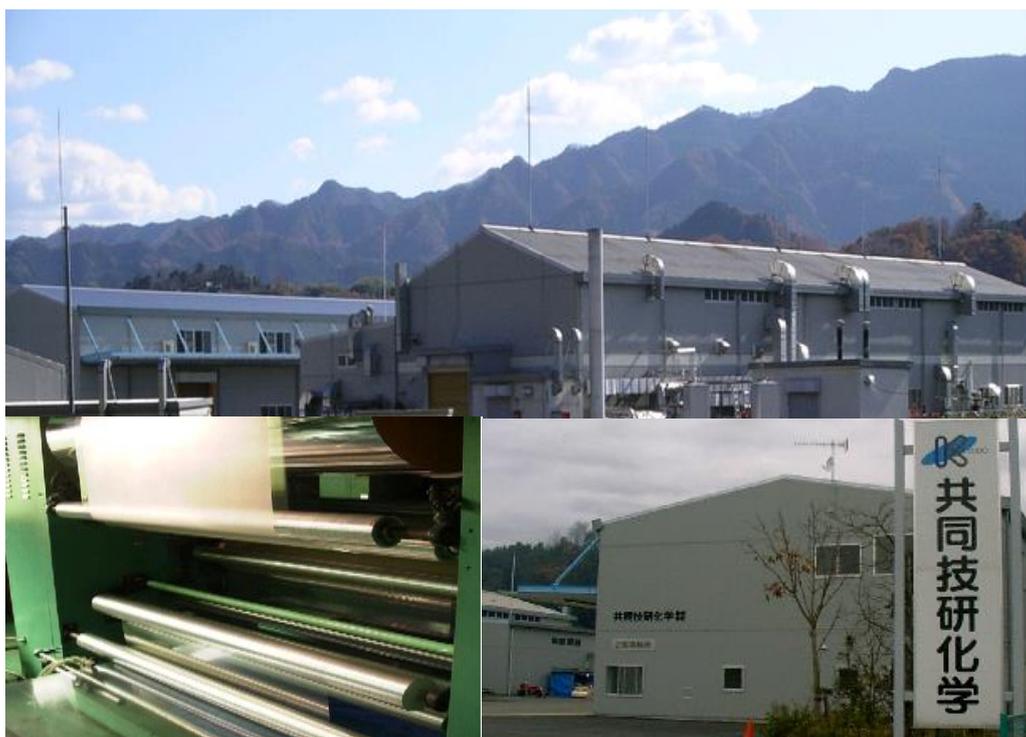




エコアクション21・環境経営レポート

44期(2022/11~2023/10)



2024年6月10日

共同技研化学株式会社

〒370-2321 群馬県富岡市岡本1280

TEL:0274-70-2611

FAX:0274-70-2612



Kyodo Giken Kagaku

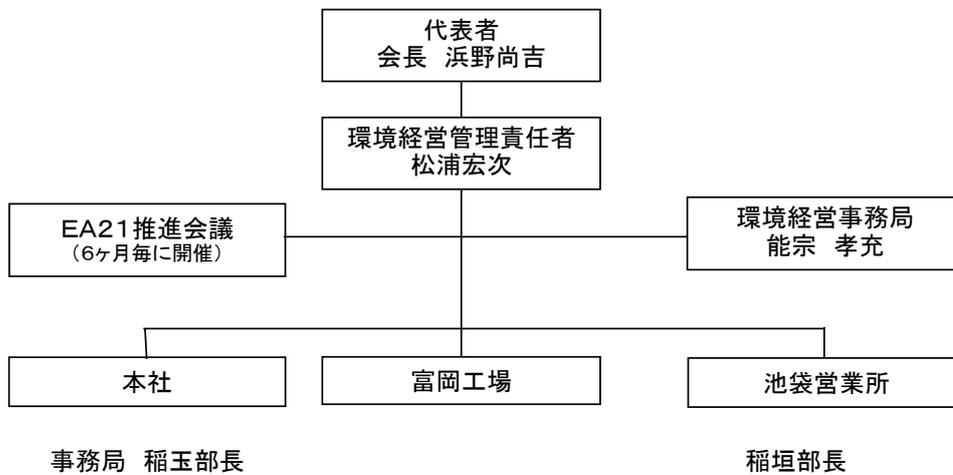
- 会社概況**
- ・ **創業** 1979年（昭和54年）
 - ・ **資本金** 5000万円
 - ・ **事業内容**
 1. 粘着・接着テープの製造
 2. ラミネート及び粘着・接着塗工
 3. 多機能フィルムの製造
 - ・ **所在地**

本社・本社工場	埼玉県所沢市南永井940
富岡工場	群馬県富岡市岡本1280
池袋営業所	東京都豊島区池袋2丁目17-8 天翔池袋西口ANNEXビル304
 - ・ **社員数** 76名
 - ・ **代表者名** 代表取締役会長 浜野尚吉
 - ・ **環境管理責任者** 松浦宏次
 - ・ **認証・登録範囲** 粘着・接着テープの製造、ラミネート及び粘着、接着塗装、多機能フィルムの製造

- 会社沿革**
- ・ 1979年 本社 所沢工場にて創業
 - ・ 1980年 コンマコーターマシン稼働開始し、接着テープの生産始める。
 - ・ 2006年 分子勾配膜テープが日本発明大賞(考案功労賞)を受賞した。
 - ・ 2006年 ISO 9001 認証を取得した。
 - ・ 2007年 耐熱性分子勾配膜テープが日本発明大賞(考案功労賞)を受賞した。
 - ・ 2008年 メークリンゲルが日本発明大賞(考案功労賞)を受賞した。
 - ・ 2009年 「分子勾配膜両面テープの開発」で文部科学大臣表彰科学技術賞受賞。
「チーム・マイナス6%」に参加
 - ・ 2010年 エコアクション21の認証を取得
 - ・ 2013年 富岡工場に仕上げ棟竣工 エコピープル1名
 - ・ 2018年 エコピープル5名
 - ・ 2019年 IR乾燥装置導入

環境経営活動組織図

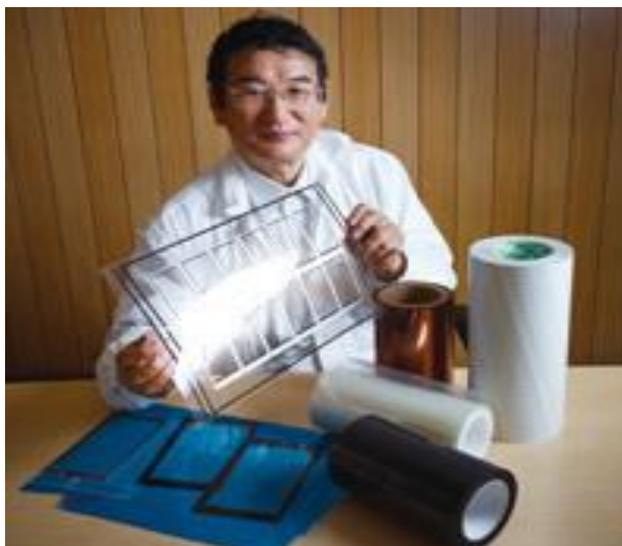
作成日 2024年 4月1日



氏名	所属	役割・責任
浜野尚吉	代表者 会長	全体の統括、環境経営方針の設定、取組の評価
松浦宏次	環境経営管理責任者	組織全体の把握、法令の管理、富岡文書類・記録の維持
能宗孝充	環境経営事務局	取組の確認・富岡文書類・記録の維持
稲玉部長	本社事務局	本社文書類・記録の維持
稲垣部長	池袋営業所	池袋文書類・記録の維持

経営トップからのメッセージ

ご挨拶



環境負荷低減へ

弊社は、1979年の設立以来、多層コーティング技術を軸に社会に貢献し、皆様の暖かいお引き立てを賜り、発展してまいりました。

環境負荷の低減を目標のひとつとして位置づけ、製品開発をして参りました。

お陰様で、環境を考慮し開発しました「分子勾配膜テープ」「メークリンゲル」は高い評価を頂き、分子勾配膜テープは、文部科学大臣科学技術賞、日本発明大賞考案功労賞、メークリンゲルは、日本発明大賞考案功労賞を受賞致しました。

今日までの皆様のご愛顧に対して深く感謝いたしますとともに、今後ともより環境を考慮した製品の開発・生産活動をしてまいります。



KGK環境経営方針

KGK は、コーティング製品の開発、生産および販売活動を通じ、環境負荷低減のための目標を設定し、継続的に見直し、地球環境の保全に貢献します

1. 環境負荷の低減や改善を図るため、次の取組みをおこないます

- 1) Co2 排出量の削減に努めます
- 2) 環境に配慮した製品の拡販を積極的におこない化学物質の使用量を削減します
- 3) 廃棄物や廃油の排出量削減に努めます
- 4) 節水の推進に取り組みます

2. 環境に関する法令、規制および要求事項を遵守し、製品含有化学物質の管理をおこないます

3. 全従業員参加による環境経営活動を通じ、地域社会との共存共栄に努めます

2023/11/1

代表取締役会長

浜野 尚吉

活動計画

改善取組み事項	具体的な取組み事項	関連SGDs	担当部署
1. 二酸化炭素排出量 1) 重油	・蒸気漏れをなくす		製造部門
	・工程数の削減	  	
2) 電力	・工程数の削減	  	製造部門業務部門
	・不必要な照明を消す		
3) 自動車燃料	・エコ運転の実施	 	営業部
2. 廃棄物	・リードロスの低減	 	製造部門
	・歩留りの向上	 	
3. 水資源の削減	・節水		全体 製造部門
	・蒸気ドレンの回収		
4. 化学物質使用量の削減	・固形分の濃度アップ ・無溶剤化製品への転換	 	技術部門
5. 環境製品の拡販 (分子勾配膜、メークリンゲル)	・販売計画への盛り込み	 	営業部

環境経営目標と実績

項目	単位	基準値	今期目標				次年度及び 中長期計画	
		42期	44期			45期	46期	
		実績	目標値	目標	実績	達成状況	目標	目標
1. 二酸化炭素 排出量削減 (売上百万円当たり)	Kg-CO2 /百万円	789	781	42期より 2%削減	711	42期より 9.9%削減	42期より 3%削減	42期より 4%削減
2. 廃棄物 排出量削減 (売上百万円当たり)	Kg/百万円	383	375	42期より 2%削減	387	42期より 1.3%増加	42期より 3%削減	42期より 4%削減
3. 水資源削減 (売上百万円当たり)	Kg/百万円	3.62	4	42期より 4%削減	3	42期より 29.4%削減	42期より 6%削減	42期より 8%削減
4. 化学物質削減 (売上百万円当たり)	Kg/百万円	90	89	42期より 2%削減	63	42期より 30.1%削減	42期より 3%削減	42期より 4%削減
5. 環境製品 生産量 (売上百万円当たり)	万㎡/ 百万円	713	720	42期より 2%増加	731	42期より 2.5%増加	42期より 3%増加	42期より 4%増加

44期売り上げ(百万円) : 2345.46

* 購入電力の排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)排出係数0.451(kg-CO2/kwh)を使用しています。R3年度実績(R5.1.24環境省・経産省公表-R5.5.26一部修正)

主な環境負荷実績(総量)

環境への負荷	42期(基準年)	43期	44期(今期)
①二酸化炭素総排出量(ton-co ₂)	1,697	1,650	1,667
②廃棄物排出量(ton)	411	458	454
③水資源投入量(m ³)	7,794	7,100	5,995
③化学物質削減(ton)	194	175	148

環境関連法規について

44期(2023年)における環境関連の適用法令に基づく遵守状況の確認結果の概要は以下の通りであった。

関連法令		該当する活動	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律		産業廃棄物の適正保管	○
		産業廃棄物の適正保管処分	○
		マニユエスト管理	○
騒音・振動規制法		規制の遵守	○
		特定施設の届出	○
大気汚染防止法	ばい煙・VOC法	規制の遵守	○
		施設の届出	○
PRTR法		排出量・移動量の届出	○
消防法		取扱所・貯蔵の届出	○
		消防設備の点検	○
フロン排出抑制法		簡易点検・定期点検	○
労働安全衛生法		有機溶剤取扱主任者	○
		特定化学物質取扱主任者	○

上記の通り環境に関連する法令について違反はありませんでした。

また、訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直しの結果

売り上げ当たりの削減効果は水資源29.4%削減・化学物質30.1%削減となっており、値上げ効果10%upを差し引いても20%台は驚くべき事である。継続的な取り組みをお願いする。